

がんばりすど

各種大会で優秀な成績を収めた方・団体を紹介します。

「第36回 清瀬市民マラソン大会」結果発表

10月10日(体育の日)に、けやき通りで「第36回清瀬市民マラソン大会」が盛大に行われました。参加人数はおとな220人、小・中学生403人の計623人でした。各優勝者は右記のとおりです(敬称略)。

小学生の部(4 <small>☎</small>)	女子の部	4年生	小俣垂矢
		5年生	福島可織
	男子の部	4年生	小川穂高
		5年生	山本朔
中学生の部(4 <small>☎</small>)	女子の部	長谷川碧	
	男子の部	計良陽斗	



沿道からの声援を受けながら、けやき通りを駆け抜ける参加者の皆さん

一般女子の部(4 <small>☎</small>)	15～35歳の部	佐藤莉子
	36歳以上の部	漆原美幸
一般男子Aの部(4 <small>☎</small>)	15～35歳の部	島田康平
	36歳以上の部	緑川慎吾
一般男子Bの部(7 <small>☎</small>)	15～35歳の部	南雄大
	36～55歳の部	平原淳(新記録)
	56歳以上の部	宮内春夫

13歳以下の国内チャンピオン決定戦 『RSK全国選抜ジュニア』で市内在住の山田倫太郎さんが優勝

10月14日～16日に、岡山県岡山市浦安総合公園テニスコート(岡山市南区浦安南町)で開催された、テニスの13歳以下の国内チャンピオンを決める大会「RSK全国選抜ジュニア」で、市内在住の山田倫太郎(二中一年)さんが見事優勝を果たしました。



優勝を果たした山田倫太郎さん

優勝した山田さんは、来年度の「ワールドジュニア アジア・オセアニア予選大会」の候補選手に推薦されます。

募集 市報きよせ・市ホームページへの 広告掲載業務取り扱い事業者

市では、平成29年度の「市報きよせ」「市ホームページ」に掲載する広告枠の広告掲載業務を、一括して取り扱う事業者を募集します。

入札への参加を希望される方は、「平成29年度一般競争入札による市報きよせ広告枠売却に関する案内書」「平成29年度一般競争入札による清瀬市ホームページ広告枠売却に関する案内書」など(いずれも秘書広報課窓口または市ホームページから入手可)を確認し、お申し込みください。

入札日時・入札場所 12月7日(水)午前9時～(市報きよせ広告枠)・9時5分～(市ホームページ広告枠)。いずれも健康センター

※入札参加資格や最低売却価格など、詳しくは市ホームページまたは秘書広報課広報聴係へ。

申込み・問合せ 11月15日から18日午後4時までに、一般競争入札参加申請書や清瀬市暴力団排除条例にかかる誓約書などの必要書類を直接または郵送で秘書広報課広報聴係☎497・1808へ

募集 女性広報誌「Ms.スクエア」編集委員

男女共同参画センター(アイレック)で年3回発行している女性広報誌「Ms.スクエア」の編集委員を募集します。

対象 市内在住・在勤・在学中、当センターで行われた文章講座を受講したことがある20歳以上の女性。定員3人

活動内容 月に2～3回2時間程度の編集会議(企画・校正など)への出席・取材・原稿執筆など

謝礼 1号に付き1万円程度

※日程などの関係で、文章講座に参加できなかった方はご相談ください。また、編集会議には無料保育(6か月～就学前)が付きますので、子育て中の方もご応募ください。

申込み・問合せ 12月2日(必着)までに応募動機を800字程度にまとめ、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入し、直接窓口・郵送またはファクスで〒204-0021清瀬市元町1-2-11 男女共同参画センター ☎495・7008、☎495・7002へ

11月25日(金)～12月1日(木) 犯罪被害者週間

犯罪被害者週間とは

犯罪により被害を受けた方やその家族・遺族の方の多くは、被害後も裁判による負担や配慮のない報道など、さまざまな困難に苦しめられています。こうしたことから内閣府は、被害者の置かれている状況を知ってもらい、再び地域で平穏に暮らせるようにするため「犯罪被害者週間」を定めました。

犯罪被害者支援

▶市では、東村山警察署と連携し、犯罪被害者などの相談を実施しています。問合せは、防災防犯課防犯係 ☎497・1848へ

▶警視庁「犯罪被害者ホットライン」

主に性犯罪・傷害事件の被害者、殺人事件などの遺族の相談に応じます。受付電話番号☎03・3597・7830(平日午前8時30分～午後5時15分) ▶公益社団法人被害者支援都民センターでは、各種支援制度の紹介・情報提供、被害者への直接支援などを行っています。受付電話番号☎03・5287・3336(平日午前9時30分～午後5時30分、火・水曜日は午前9時30分～午後7時)。また被害が深刻であるにも関わらず、相談がしにくい性暴力被害者への支援を目的とした「性暴力救済ダイヤルNaNa」もご利用ください。受付電話番号☎03・5607・0799(24時間)

3本の木とともに

高校時代、私の夢は物理学者でした。だから、市長室に贈られてきた科学雑誌『ニュートン』11月号・12月号にワクワクしてしまいました。

【真空は空っぽではない! 現代物理学、驚愕の真空像】真空には何か満ちている。11月号より。【重力波天文革命】光(電磁波)を用いた天体観測によって、天動説から地動説への宇宙観の大転換が起きたように、重力波という新たな道具によって、今後、私たちの宇宙観が大きく塗り替えられることになるでしょう。12月号より。

観測する力、受け止める力量、感じる力によって事態は大きく変わっていくことを、現代物理学が示唆しました。人生観も宇宙観と同じく塗り替えられるでしょう。

たとえば、市民まつりにお披露目した2020東京オリンピック・パラリンピックの旗、私がおもっと市民の皆様にもっともらおうと思わなかったら、担当職員から自分たちの手柄話の報告はなかったでしょう。

実は、多摩26市での最初のお披露目が清瀬だったのです。市担当課が都庁、日出町、檜原村にお願いして、きよせ市民まつりと、10月22日、28日に市庁舎でのお披露目に至ったのです。そこに「とても大事な旗だ。もっと目立たせよう」と指示したら、詳しい報告があったのです。私が感じなかったら自慢話になってしまうので報告はなかったでしょう。

感じるといういろいろなことを見えてきます。たとえば第8回石田波郷俳句大会の読売新聞の記事「石田波郷は清瀬市の療養所で結核と闘いながら詠んだ療養俳句や、戦争で焼け野原となった下町を詠んだ焦土俳句で知られ、「昭和の俳聖」と

呼ばれる」とあり、先日創立70周年記念式典を開催した日本社会事業大学の校歌4番には「焦土の果に誓えれば、再び見まじ苦難の日」と、やはり焦土がありま

す。そして、ベトレム病院で天に旅立ったゼノ修道士はかつて「アリの町の神父」と呼ばれ、焦土と化した日本各地で社会福祉活動に取り組み、ローマ法王が称賛された聖人です。

加えて、東日本大震災の後、希望の灯となったのは東京スカイツリー。名誉市民の澄川先生がデザイン監修し、市内に技術研究所がある大林組が建設しました。清瀬はちっぽけではない。清瀬には何か満ちている!

注1……地球は宇宙の中心にあって、その周りを天体が動いているとする説。
注2……宇宙の中心は太陽であり、地球や他の惑星はその周りを自転しながら公転しているとする説。

清瀬市長 茨谷金太郎

清瀬病院跡地を市の文化財(旧跡)に指定

清瀬は1930年代から結核の治療と研究において、日本における中心的な役割を果たしています。この結核治療の歴史は、昭和6年10月に開設された「東京府立清瀬病院」から始まりました。最終的には800床を越す、大療養所となりましたが、その後、東京病院との合併などを経て昭和47年に閉鎖、清瀬病院の歴史に幕が下りました。現在跡地には市立中央公園や国立看護大学校があり、当時の面影を忍ぶものはありませんが、中央公園には「ここに清瀬病院ありき」の石碑と「碑誌」が建てられています(下写真)。

市では清瀬における結核治療の歴史を正しく後世に伝えるため、清瀬病院跡地を市の文化財(旧跡)に指定しました。



清瀬 こども俳句

小・中学生の俳句を紹介するコーナー。ぜひ応募ください。 選評 石田波郷俳句大会実行委員会

●にんげんはわらっていると夏になる

清小三年 柴田みかん

【評】日本は四季の巡りがくっきりとしているが、俳句はその季節感を背景にした暮らしのなかの詩。そして四季のなかで最も季節感のはっきりしているのが夏であり、子どもたちにとって楽しく笑うことが一番多いのも夏。長い夏休みプール祭り…。そうした夏総体の感じを、夏だけ漢字にしてみたくかまえた。ハッピー感がよい。

芝小三年 五十嵐優和

●金魚ばち一年ごとにせまくなる

芝小一年 佐藤詩子

【評】その言葉を使えば、その季節の感じが多くの人に伝わり、というキーワードが俳句の「季語」。この句で使っている金魚も夏の季語の一つで、たとえば金魚鉢で泳ぐ姿の涼感が愛された。この句は、金魚鉢との対比のなかで金魚の成長ぶりを示す巧みさで、暑気中の涼しさとおどろき、発見を詠んだ。

芝小一年 佐藤詩子

●なつのかわいっすんぼうしになってみた

芝小一年 佐藤詩子

【評】夏休みに出かけた川遊びなど、この季節には楽しいことがいっぱいだが、そのなかで作者には忘れられない体験があって、それを五七五に書きとめてみた。たぶん、浮き輪が何か流れてみたのだろ。それが、本で読んで一寸法師みたかったと。

※今回の俳句は「第8回石田波郷俳句大会」ジュニア部の入選作から。